



新年のご挨拶



(社)三原青年会議所
第46代 理事長
渡辺 敏

新年明けましておめでとうございます。2007年の年頭にあたり、この一年が皆様方にとって最良の年でありますよう、心からお祈り申し上げます。また、旧年中は(社)三原青年会議所に対し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。本年、私たち(社)三原青年会議所は創立45周年という記念すべき年を迎えます。これもひとえに皆様方の暖かいご厚情の賜物と心より深く感謝申し上げます。

時代の鼓動

いざなぎ景気以来の景気拡大、バブル時に近い都心での地価の高騰、主要都市銀行にて過去最高利益など、これらのニュースを聞けば、日本は失われた10年を取り戻し、景気が回復して立ち直ったのだと誰もが思うでしょう。しかし一方では、ワーキングプアという言葉に代表される所得格差の拡大、大手企業と中小企業との景況感の違いなど、私たちの生活を推し量る上で、重要な要素である経済ひとつとっても、景気不景気で説明できない状況ではないでしょうか。言い換えれば、私たちは今までの価値基準では言い表せない不透明な時代にいるのではないのでしょうか。

三原への想い

三原がどんなまちになったらいいと思われませんか。私は住民すべてが人との繋がりを密接に感じ、自らの能力を人様のためにいかに発揮できるまちになったらと思っています。そして100年後、1000年後と子々孫々まで、行政的にも経済的にも安心して安全に暮らせるまちであってほしいと願っています。

私たちの住む三原は、中国地方のほぼ中心に位置し、交通の要所であり、気候が温暖で海と山に囲まれた自然を満喫できる大変恵まれたまちだと思います。また、歴史的に縄文・弥生・古墳時代の遺跡が数多く残っておりますし、市中心部においては戦国時代の武将小早川隆景が浮城を築城したとき以来の城下町でもあります。さらには住民パワーをいかに発揮できる浮城祭り、さつき祭り、神明市、はだか祭り、白竜湖祭り、やっさもっさ祭りなどのイベントが四季折々にあります。

三原は、今後の都市間競争において、表面的にも潜在的にも、大いなる存在感をみせる可能性を秘めたまちだと思います。

ビジョン「三原の誇想創力」の実現に向けて

一昨年発表しました、(社)三原青年会議所ビジョン「三原の誇想創力」では、誇りあるオンリーワンの輝く三原を創る為には、市民・企業・行政が相互理解し、主体性を持って一体となり協働で、三原固有の財産である歴史、伝統、風土、文化を活かしたまちづくりをおこなう必要があるとしています。その早期実現に向け、まちの根幹ともいえる地域の人が、未来への可能性を感じ、前向きにまちづくりへと関わってゆけるよう取り組んでまいります。

遥かなる未来へ向かって

私たちの未来への希望であり、地域の宝でもある子どもたちが、自分のことより人様のことを優先的に考えられ、どんな逆境にあっても挫けることなく、個としての存在感を持ち、三原に根ざして生きる「健気で逞しい、個性溢れる地域に根ざした三原っ子」へと育つよう、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちを見守り育成してゆける、充実した地域共育環境の構築に向けて活動してまいります。

終わりに

最後になりましたが、本年も私たち青年会議所メンバー一同、責任世代の人間として、喧々諤々と議論を重ね、互いに切磋琢磨しあいながら、基本理念とする「明るい豊かなまち」の実現に向け、最善を尽くすべく活動してまいります。併せて本紙「やっさもっさ」のなご一層のご愛読をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

写真提供 藤原 敏明氏

みたがきいたが

「あけましておめでとうございます」この挨拶から一年が始まる。そして「おはよう」という挨拶で我が家の一日が始まる。何故か妻と子どもに毎日一番に発する言葉が「おはよう」の一言であり、朝起きて一番に聴く言葉も妻、そして子どもたちの「おはよう」という挨拶である。現在では親と子、

親と親の間の挨拶が少なくなってきたと聞く。挨拶をして会話が始まる。それが本来の姿である。◆本来の姿とはいったい何なのでしょう。「本来の自分の姿とは…」と自分に問うと考え込んでしまう。今の自分を否定してしまう自分と、今の自分が正しいと意味もなく納得している自分。自分の気持ちの中で、その見えない答え、見えて欲しくない答えに対し

て右往左往している自分が今ここにいる。◆本年度(社)三原青年会議所はこれまでに様々なまちづくり運動を展開し、本年度、創立45周年を迎える。青年会議所の本来の姿とは、市民・企業・行政から青年会議所の存在が必要でなくなることはないかと考えます。我々青年会議所が目指す「明るい豊かなまち」が実現すれば我々の活動も必要なくなるのかもしれない

れません。◆「明るい豊かなまち」を目指す我々の活動の一つとして本紙「やっさもっさ」を多くの皆様のご協力により発行しております。この一年は一人でも多くの皆様に手にとって読んでいただき、我々の目指す「明るい豊かなまち」を理解していただけるよう努めてまいります。本年度も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。